

九月九日は救急の日

理解と協力を

消防庁と厚生省は、九月九日を「救急の日」に、またこの月を含む一週間を「救急医療週間」に定めています。

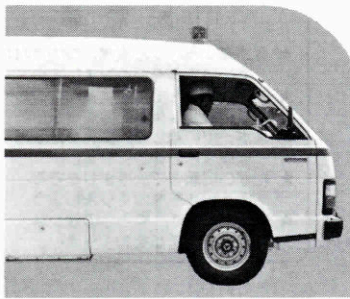
これは、国民に救急業務と救急医療について正しい理解と認識を深めてもらおうとするためです。

今回は、長門市の救急業務についておしらせします。

今日も

ピーポーが走る

深夜、ピーポーピーポーとサイレンを鳴らして救急車が走ると、だれか急病かな……交通事故かな……知人の事故でなければよいが、と一瞬不安になります。



市に救急自動車が配備されたのは昭和四十七年十月十五日でした。それから今年の七

救急車はタクシーではありません

月末日までに、出動した延件数は、六、四一五件になります。これは、一日に一・四件出動した計算になります。

昭和五十九年中の長門地区管内の救急出動件数は(図一参照)一、〇三九件です。この内長門市は六四五件(人数も同じ)を病院へ運んでいます。これは管内全出動件数の六二パーセントにあたります。六四五件の事故種別では、急病によるものが、五一パーセント、次いで交通事故によるものが二一パーセントにあたります。

また、六四五人の傷病の程度を見ると

死亡 26人(4%)

図1 59年救急出動状況

単位：人

	長門市		三町計		
	長門市	三町計	長門市	三町計	
火災	1	3	加害	11	2
水難	2	1	自損行為	6	5
交通事故	139	99	急病	328	178
労働災害	11	17	その他	51	13
運動競技	7	7	出動件数	645	394
一般負傷	89	69	合計		

※ 三町計(三隅・日置・油谷)

重症 155人(24%)
 中等症 232人(36%)
 軽症 232人(36%)
 となつています。

軽症の二三人については必ずしも救急車を呼ぶ必要があったのか疑問に思いました。この点を野村消防署長に尋ねたところ、次のような話をしてくれました。

救急車が現場に到着すると重病と連絡のあった本人が、入院用の手荷物を持って玄関から歩いて出て、救急車に乗り込む。また、救急車に乗った重病の人は、サイレンを鳴らすと恥ずかしいから、サイレンを鳴らさないで走ってくれ」と言う。などの例がたくさんあると聞きまし。しかし署長は、「たとえ症状が軽いと思っても、救急

隊員が患者を救急車へ収容することを拒むことはない」との話でした。

これは、隊員は専門の教育を受けていますが医師でないため、症状の判断を誤ってはならないという考えによるものです。

しかし、緊急車を走らせて病院に行くほどの症状でないのなら、家用車やタクシーを利用したいものです。同じ時に、交通事故などで一刻を争う患者が、救急車を待っているかもしれないのです。



を呼ぶほどの病気ではないとわかっていても、どこの病院で診療してもらえるかわからないから救急車をたのんだ、という人もあるでしょう。

祝日・日曜日の在宅当番医や救急当番医の問い合わせには救急テレホンサービス②一五九九がありますので、ご利用ください。

イザという時あわてないために

休日や夜間に病人が出ると心細くなるものです。救急車

また、日頃からかかりつけ

敬老会日程

15日の敬老の日を前に、市内各地区毎に社会福祉協議会主催の敬老会が開かれます。ご近所でさそいあって、ぜひご出席ください。

日	程
俵山地区	9月11日(木) 10:00~ 俵山中学校体育館
仙崎地区	9月12日(木) 10:00~ 仙崎小学校体育館
深川地区	9月13日(金) 10:00~ 中央公民館大講堂
通地区	9月14日(土) 10:00~ 通漁村センター

船員労働安全衛生月間

9月1日~9月30日まで
 ゼロ災害で明るい船内
 安全と健康管理の徹底を!!

この月間は、安全で衛生的な海上職場環境をつくるために行われる運動です。

長門地区船員労働安全衛生協議会では、船舶所有者並びに船員に対して、この月間中緑十字旗の掲揚、救命消防設備の点検整備、飲用水の水質検査等呼びかけます。

九月十三日には、仙崎港で指導班が船を巡回して、船内の点検指導をおこないます。

の医師をもっておくとういでしょう。休日や夜間の急病の場合は、おちついて、かかりつけの医師に相談し、指示をおおぐの一番よいでしょう。

消防本部では、職場や各地区毎に救急講習会を呼びかけています。これらの講習会に出席して、正しい応急手当を身につけておけばイザという時に、あわてないですみます。